



## 2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月7日

上場会社名 イー・ガーディアン株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6050 URL <https://www.e-guardian.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高谷 康久  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 溝辺 裕 TEL 03-6205-8859  
四半期報告書提出予定日 2024年5月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期第2四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	5,718	△7.0	878	△6.6	872	△9.2	536	△18.0
2023年9月期第2四半期	6,148	7.1	940	△20.5	961	△22.2	653	△32.3

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 544百万円 (△16.4%) 2023年9月期第2四半期 650百万円 (△33.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	46.87	—
2023年9月期第2四半期	65.18	—

(注) 「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」の算定上、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	12,731	10,888	85.5
2023年9月期	9,112	7,386	81.0

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 10,888百万円 2023年9月期 7,386百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	—	—	31.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2024年5月7日）公表いたしました「配当方針の変更、配当予想の修正及び株主優待制度の新設に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,503	△3.4	1,758	△1.2	1,751	△3.1	1,176	△4.4	102.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2024年5月7日）公表いたしました「第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、「1株当たり当期純利益」の算定上、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	11,933,516株	2023年9月期	10,405,800株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	399,412株	2023年9月期	412,854株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	11,440,235株	2023年9月期2Q	10,033,192株

(注1) 期末自己株式数には役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めて記載しております。また、期中平均株式数の算定に当たり、その計算において控除する自己株式に、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、2024年5月17日（金）に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。

当日使用する決算説明資料についてはT D n e t 及び当社ウェブサイトに掲載するほか、決算説明会の模様及び説明内容については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、経済活動等の正常化が進み、雇用・所得環境が改善していく中で、緩やかに回復しております。一方で、不安定な世界情勢の長期化を受けた物価上昇や世界的な金融引き締めに伴う影響により、依然として先行き不透明な状態が続いております。

当社グループを取り巻く国内のインターネット関連市場では、動画視聴やEC（インターネット通販）サービス、F i n t e c h関連サービスの拡大・成長傾向が継続しております。また、今後もインターネットにおける技術革新はますます進み、様々なサービスが展開されていくものと予想されますが、リモートワークの定着・拡大に伴うセキュリティへの不安の高まりやサプライチェーンのサイバーリスクなどサイバーセキュリティの課題は年々増え、かつ深刻化しており、全てのインターネットユーザーが安心して利用できるよう、安全性を求める声は引き続き高まりを見せております。

このような環境のもと、当社グループは経営理念「We Guard All」を掲げる総合ネットセキュリティ企業として、「AIと人のハイブリッド」を強みに、高品質かつ高効率のセキュリティワンストップサービスを提供してまいりました。また、当社親会社である株式会社チェンジホールディングス（以下「チェンジHD」といいます。）と日本国内におけるサイバーセキュリティのトップベンダーとなるための取り組みを進めてまいりました。

当社グループの主力サービスであるソーシャルサポートサービス、及び成長分野として位置付けているサイバーセキュリティは、インターネットの安心・安全を実現するために必要不可欠なものであり、今後もサービス品質の強化、プロダクトの改善、充実に努めてまいります。

当第2四半期連結累計期間では、F i n t e c h関連サービスの一部案件の需要が落ち着き、減収となったものの、EC・フリマサイト向けのカスタマーサポートが堅調に推移しました。また、サイバーセキュリティ事業は、脆弱性診断やWAF（※）の拡販により大きく伸ばいたしました。

加えて、採用及び教育を中心とした社内体制の強化やエンタープライズ系デジタルBPO領域の拡大に向けた営業活動などの取り組みを継続してまいりました。

チェンジHDとの協業に関する取り組みに関してもソーシャルサポート等の主力事業及びサイバーセキュリティ事業において、チェンジHDの既存外注業務の当社への移管の準備を進めました。さらにチェンジHDとの協業として、新サービスの展開を開始いたしました。

国内各センターにおいては、前期の収益悪化要因であった一部の低収益案件について、前期末に改善を果たし、当第2四半期連結累計期間においては引き続きセンター体制の強化、採算性管理の強化、価格改定に取り組みました。

### 用語説明

（※）Web Application Firewallの略称。ウェブアプリケーションの脆弱性を悪用する攻撃を検出・防御し、ウェブサイトを保護するためのセキュリティ製品。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,718,786千円（前年同期比7.0%減）、営業利益は878,301千円（前年同期比6.6%減）、経常利益は872,437千円（前年同期比9.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は536,189千円（前年同期比18.0%減）となりました。

当社グループは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はありません。業務の種類別の業績は以下の通りであります。

① ソーシャルサポート

ソーシャルサポートは、ソーシャルWebサービス等の様々なインターネットサービスを対象に、投稿監視、カスタマーサポート及び風評調査等を提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、F i n t e c h関連サービスにおいて、カスタマーサポートの需要が落ち着き、減収となりましたが、同サービスでの本人確認や監視業務の案件獲得に注力いたしました。また、EC・フリマ向けのカスタマーサポートが堅調に推移いたしました。

また、引き続きエンタープライズ系デジタルBPO領域の拡大に向け、既存顧客への深耕及び新規案件の獲得に取り組みました。加えて、チェンジHDグループの既存外注業務の当社への移管の準備を進めました。さらに、チェンジHDグループと共同でのサービス展開を開始し、「ふるさと納税ポータル運用業務BPOサービス」など複数のサービスの提供を開始しました。

その結果、売上高は3,317,654千円（前年同期比6.2%減）となりました。

② ゲームサポート

ゲームサポートは、ソーシャルゲームを対象に、主にカスタマーサポート及びデバッグ業務等を提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、引き続き海外ゲーム会社のローカライズ案件（言語翻訳や調整等の支援）からのクロスセル展開に注力いたしました。

また、国内ゲーム市場は変わらず大型のヒットタイトルに恵まれず、減収となりました。

その結果、売上高は840,135千円（前年同期比10.9%減）となりました。

③ アド・プロセス

アド・プロセスは、インターネット広告審査業務及び運用代行業務を提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、引き続きデジタル広告市場の規制強化に対する需要への対応、加えてインフルエンサーマーケティング関連の需要を捉え、新規顧客開拓に注力いたしましたが、既存顧客の売上高の減少を吸収できず、減収となりました。

その結果、売上高は706,349千円（前年同期比10.6%減）となりました。

④ サイバーセキュリティ

サイバーセキュリティは、主に脆弱性診断、WAF、セキュリティの経営課題を解決するコンサルティングサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、脆弱性診断、WAFの拡販により、大きく伸長いたしました。

また、引き続き更なる成長に向けた採用、教育の強化やマーケティング施策を実施いたしました。加えて、チェンジHDとの共同提案等の取り組みに注力いたしました。

さらに、クラウド型WAF「SiteGuard Cloud Edition」をリニューアルし、料金プラン、管理コンソールのUIを刷新、24時間365日対応可能な緊急電話窓口を開設いたしました。

その結果、売上高は472,458千円（前年同期比16.8%増）となりました。

⑤ その他

その他は、主にハードウェアに対するデバッグ業務を提供しております。完全子会社であるEGテストングサービス株式会社が、30年以上の経験とノウハウに裏打ちされた高品質なサービスを訴求し、深耕営業、新規開拓に取り組みました。

その結果、売上高は382,188千円（前年同期比19.4%減）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## （資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、11,131,942千円となり、前連結会計年度末における流動資産7,404,023千円に対し、3,727,919千円の増加（前連結会計年度末比50.3%増）となりました。

これは主に、現金及び預金が第三者割当により3,627,502千円、売掛金が120,993千円増加した一方、その他が19,399千円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、1,599,622千円となり、前連結会計年度末における固定資産1,708,932千円に対し、109,309千円の減少（前連結会計年度末比6.4%減）となりました。

これは主にのれんが48,126千円減少したことによるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、12,731,565千円（前連結会計年度末比39.7%増）となりました。

## （負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、1,842,977千円となり、前連結会計年度末における負債1,726,791千円に対し、116,186千円の増加（前連結会計年度末比6.7%増）となりました。

これは主に、未払法人税等が233,617千円増加した一方、未払消費税等が103,445千円減少したことによるものであります。

## （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、10,888,587千円となり、前連結会計年度末における純資産7,386,163千円に対し、3,502,423千円の増加（前連結会計年度末比47.4%増）となりました。

これは主に、剰余金の配当264,802千円を実施した一方、第三者割当による新株式の発行に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,603,337千円増加、親会社株主に帰属する四半期純利益536,189千円を計上したことによるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は9,377,262千円となり、前連結会計年度末における資金5,749,760千円に対し、3,627,502千円の増加となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下の通りであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は693,927千円（前年同四半期は381,496千円の収入）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上807,357千円があったものの、売上債権の増加が120,137千円、未払消費税等の減少103,407千円があったことによるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出された資金は30,143千円（前年同四半期は60,246千円の支出）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出11,531千円、無形固定資産の取得による支出22,840千円によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は2,957,681千円（前年同四半期は238,862千円の支出）となりました。

これは主に、第三者割当により、株式の発行による収入3,206,675千円を計上したこと、配当金の支払による支出253,426千円があったことによるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月6日に公表した通期連結業績予想の数値を修正しております。詳細につきましては、本日（2024年5月7日）公表の「第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,749,760	9,377,262
売掛金	1,430,711	1,551,705
仕掛品	9,827	8,310
その他	214,474	195,075
貸倒引当金	△751	△410
流動資産合計	7,404,023	11,131,942
固定資産		
有形固定資産	639,528	606,249
無形固定資産		
のれん	385,015	336,888
ソフトウェア	32,762	48,849
その他	126,137	105,166
無形固定資産合計	543,916	490,905
投資その他の資産		
敷金及び保証金	411,433	408,160
その他	114,054	94,307
投資その他の資産合計	525,487	502,468
固定資産合計	1,708,932	1,599,622
資産合計	9,112,955	12,731,565
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,832	4,447
未払金	811,761	771,855
未払費用	8,192	14,205
未払法人税等	78,605	312,222
未払消費税等	241,508	138,062
賞与引当金	48,974	89,969
その他	221,998	218,117
流動負債合計	1,415,872	1,548,881
固定負債		
役員株式給付引当金	149,958	170,035
長期預り保証金	61,675	51,429
その他	99,285	72,630
固定負債合計	310,918	294,095
負債合計	1,726,791	1,842,977
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	364,280	1,967,618
資本剰余金	384,454	1,989,253
利益剰余金	7,332,787	7,604,174
自己株式	△729,300	△714,230
株主資本合計	7,352,222	10,846,817
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	33,941	41,770
その他の包括利益累計額合計	33,941	41,770
純資産合計	7,386,163	10,888,587
負債純資産合計	9,112,955	12,731,565

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	6,148,126	5,718,786
売上原価	4,439,451	4,037,073
売上総利益	1,708,675	1,681,713
販売費及び一般管理費	768,473	803,411
営業利益	940,202	878,301
営業外収益		
受取手数料	280	288
補助金収入	20,548	10,553
助成金収入	158	1,431
その他	866	2,816
営業外収益合計	21,853	15,089
営業外費用		
支払手数料	—	14,109
為替差損	506	6,631
その他	251	212
営業外費用合計	758	20,953
経常利益	961,296	872,437
特別利益		
貸倒引当金戻入額	188	—
特別利益合計	188	—
特別損失		
固定資産除却損	17	7,118
資本業務提携・増資関連費用	—	57,960
特別損失合計	17	65,079
税金等調整前四半期純利益	961,467	807,357
法人税、住民税及び事業税	248,108	279,118
法人税等調整額	59,403	△7,950
法人税等合計	307,512	271,167
四半期純利益	653,955	536,189
親会社株主に帰属する四半期純利益	653,955	536,189

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	653,955	536,189
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,316	7,829
その他の包括利益合計	△3,316	7,829
四半期包括利益	650,638	544,018
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	650,638	544,018

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	961,467	807,357
減価償却費	47,067	47,260
のれん償却額	48,126	48,126
その他の償却額	20,971	20,971
受取利息及び受取配当金	△27	△41
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△188	△340
固定資産除却損	17	7,118
資本業務提携・増資関連費用	-	57,960
売上債権の増減額 (△は増加)	△242,399	△120,137
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,493	1,180
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,334	△384
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△39,527	40,874
未払金の増減額 (△は減少)	36,413	△30,504
未払消費税等の増減額 (△は減少)	57,751	△103,407
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	14,709	20,077
その他	△120,517	△32,647
小計	780,037	763,464
利息及び配当金の受取額	27	41
資本業務提携・増資関連費用の支払額	-	△57,960
法人税等の支払額	△398,568	△11,617
営業活動によるキャッシュ・フロー	381,496	693,927
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△54,118	△11,531
無形固定資産の取得による支出	△10,894	△22,840
差入保証金の差入による支出	△34,235	△5,574
差入保証金の回収による収入	39,002	9,803
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,246	△30,143
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	-	3,206,675
配当金の支払額	△238,862	△253,426
自己株式の処分による収入	-	4,431
財務活動によるキャッシュ・フロー	△238,862	2,957,681
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,186	6,035
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	80,201	3,627,502
現金及び現金同等物の期首残高	4,951,106	5,749,760
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,031,307	9,377,262

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年8月2日開催の取締役会決議に基づき、2023年10月11日付で、株式会社チェンジホールディングスから第三者割当増資の払込を受け、資本金が1,603,337千円、資本準備金が1,603,337千円増加しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,967,618千円、資本剰余金が1,989,253千円となっております。